



新聞部独占インタビュー 創立90周年 記念講演

池上 彰さんに迫る

「学び続ける力」



講演終了後、秋田さまの米目録の贈呈に驚く池上さん

昨年の十月三日、本校第一体育館で九十周年記念講演会が行われ、池上彰氏が「学び続ける力」を題に講演を行った。

講演会では、自身の幼少期のエピソードからジャーナリストを志した経緯を話し、人々のために役立つ仕事に就くことが大切であるとした。その後、「人は学ばずば学ばず自ら

Q1 私たち地方に住む高校生が身に付けたら良い能力はありますか。

A1 地方には悪い誘惑が少なく、物事に打ち込む環境があることが良いことだ。都会と比べて塾や予備校が少ないかもしれないが、まず基礎を身に付けることが重要だとはいえる。

Q2 将来したいことに突き進んで欲しい」と講演会でおっしゃっていたが、将来自分は何をしたらいいかわからない人はどうしたらいいでしょうか。

A2 私も昔、将来の夢を答えられず悩んだことがある。(笑)でも無理に決めなくてもいいし、焦らなくてもいい。社会には偶然の仕事に入ったりは多いから、入ってからこれがやりたいことだったと気付く人もいます。夢があることに越したことはないからといって焦る必要はない。

Q3 将来ジャーナリストになりたい人へのアドバイスをお願いします。

A3 ジャーナリストにはいろいろな人がいる。大学の学部、文系理系は問わない。たとえば理系の人は、ノーベル賞の解説などで引張りださ

池上彰さんの話にひきつけられた新聞部員

時間が無い中、質問に丁寧な回答をくださった。能代高校生は「学び続ける力」をどのようか、池上先生のことは体験に裏づけられた説得力のあるものであった。インフォとアウトプットを意識して、自分の学び続ける力を伝える必要を感じた。

本校には学食があるが、県内で食を有している高校は珍しいと聞いた。そこで、食卓についてインタビューをした。

食卓の方は、当時三人体制で準備を進めていた。午前月曜日は学校へ来て、すてのメニューを用意し、正午には下ごしらえを完成させて生徒を迎える。すべて片づけ終わるの

お昼時の利用は、平日約三十人くらい、野球部

の生徒は皆持参でやってきた。食卓の歴史は古く、私達の親世代にもあった。四四(四)通称「カラマヨ」だ。白米メニューは、生徒達の喜ぶ顔を思い浮かべながら栄養バランスを考



英語で発表をする理数科の生徒ら

事前準備では、発表用のプレゼン原稿を全て英訳する作業から始めた。専門用語が多く苦労したそうだがなんとか完成。その後、英語科の高橋久壽子先生、ALTのクリスタル先生に発音等の助言をもらいながら発表の練習をした。加えて、ソウル高校の生徒が英語で質問してくることを想定し、それに備え何パターンもの回答を用意した。

先陣からはアドバンスの応援の言葉をもらい準備万端でソウルへと出発した。本番当日は、光合成細菌について半年間研究してきた成果を発表した。プレゼンのメンバーの名前をハンゲル文字で表記しているのを見たり、メンバーが韓国語で自己紹介をした場面ではソウル高校の生徒が歓声を上げる場面もあった。残念ながらソウル高校からの質問はなかったもののソウル高校の生徒の反応も

ホムステイでは、メンバーそれぞれが市内の家庭に一泊し、英語で日本の文化の話をするなど交流を深めた。

理数科 ソウルで研究成果披露 国際力、英語力必須

資料 題「光合成細菌によるもみ殻の分解 ~小さな細胞に大きな力~」

インタビュー この人

通学路 寝ぐせが揺れる ノンフィクションの「今日」が始まる

文芸部 瑞々しい感性で詠む 東洋大学「現代学生百人一首」入選

「今日」が始まる

十代も政治に参加 来夏に先駆け「模擬投票」体験

無線部 世界の舞台で チャンピオンに

「十八歳の選挙権」がこの夏の参院選から適用される。本校の就職、進学などの進路決定者約三千名の三年生を対象に一月十七日、模擬投票が行われた。